



平成 25 年 4 月 8 日

各 位

会 社 名 伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
代表者名 代表取締役社長 菊地 哲
(コード番号 4739 東証第1部)
問合せ先 主 計 部 長 矢板 邦彦
(TEL 03-6203-5000)

(訂正)「平成 23 年 3 月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

平成23年4月27日に公表いたしました「平成23年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なおXBR L 数値データについては、訂正はありません。

記

1. 訂正理由

セグメント情報について、セグメント間の内部売上高の集計過程に誤りがあったことが判明したため、訂正を行うものであります。

なお、セグメント間の内部売上高の訂正となりますので、連結損益計算書の売上高、営業利益等に影響はございません。

2. 訂正箇所

添付資料 2 ページ

1. 経営成績 (1) 経営成績に関する分析 ①当期の経営成績

添付資料 22 ページ及び 23 ページ

4. 連結財務諸表 (8) 連結財務諸表に関する注記事項 (セグメント情報等) (セグメント情報)

訂正箇所は____を付して表示しております。

3. 訂正内容

添付資料 2 ページ

(訂正前)

<前略>

各セグメントの概況につきましては、ソリューションビジネスセグメントは、エンタープライズシステム事業グループで収益が増加したものの、情報通信システム事業グループや流通システム事業グループを中心に減少し、売上高は 274,810 百万円 (同 2.3%減)、営業利益は 22,941 百万円 (同 4.8%減) となりました。サービスビジネスセグメントは、保守・運用サービス事業グループや連結子会社において売上高が減少したため、売上高は 53,241 百万円 (同 3.0%減) となりましたが、経費削減を進めた結果、営業利益は 13,168 百万円 (同 4.0%増) となりました。

(注) 上記セグメントの売上高及び営業利益には、当社グループ内取引において生じた利益額を含んでおります。

(訂正後)

<前略>

各セグメントの概況につきましては、ソリューションビジネスセグメントは、エンタープライズシステム事業グループで収益が増加したものの、情報通信システム事業グループを中心に減少し、売上高は 274,768 百万円 (同 2.3%減)、営業利益は 22,941 百万円 (同 4.8%減) となりました。サービスビジネスセグメントは、保守・運用サービス事業グループや連結子会社において売上高が減少したため、売上高は 90,755 百万円 (同 1.0%減) となりましたが、経費削減を進めた結果、営業利益は 13,168 百万円 (同 4.0%増) となりました。

(注) 上記セグメントの売上高及び営業利益には、当社グループ内取引において生じた利益額を含んでおります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 平成 21 年 4 月 1 日 至 平成 22 年 3 月 31 日)

(訂正前)

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	連結財務諸表 計上額 (注2)
	ソリューション ビジネス セグメント	サービス ビジネス セグメント	計		
売上高					
外部顧客への売上高	280,084	10,307	290,391	—	290,391
セグメント間の内部売上高 又は振替高	<u>1,302</u>	<u>44,595</u>	<u>45,898</u>	<u>△45,898</u>	—
計	<u>281,386</u>	<u>54,903</u>	<u>336,290</u>	<u>△45,898</u>	290,391
セグメント利益	24,090	12,658	36,749	△15,179	21,569
セグメント資産	93,830	41,985	135,815	97,414	233,230
その他の項目					
減価償却費(注3)	2,275	1,437	3,712	2,286	5,998
持分法適用会社への投資額	836	—	836	98	934
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額(注3)	1,113	2,193	3,307	1,214	4,521

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

- (1)セグメント利益の調整額△15,179 百万円には、主に全社費用△17,365 百万円、セグメント間取引消去 1,883 百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。
 - (2)セグメント資産の調整額 97,414 百万円には、主に全社資産 101,166 百万円、セグメント間債権債務消去 △3,496 百万円が含まれております。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない余資運用資金（現金及び預金等）及び管理部門等に係る資産であります。
 - (3)その他の項目の減価償却費の調整額 2,286 百万円には、全社資産に係る減価償却費 2,471 百万円、未実現利益消去△185 百万円が含まれております。持分法適用会社への投資額の調整額 98 百万円は、管理部門が主管する持分法適用会社への投資額であります。有形固定資産及び無形固定資産等の増加額の調整額 1,214 百万円には、全社資産に係る増加額 1,283 百万円、未実現利益消去△69 百万円が含まれております。
2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
 3. その他の項目の減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額には、長期前払費用に係る金額が含まれております。

(訂正後)

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	連結財務諸表 計上額 (注2)
	ソリューション ビジネス セグメント	サービス ビジネス セグメント	計		
売上高					
外部顧客への売上高	280,084	10,307	290,391	—	290,391
セグメント間の内部売上高 又は振替高	<u>1,259</u>	<u>81,366</u>	<u>82,625</u>	<u>△82,625</u>	—
計	<u>281,343</u>	<u>91,673</u>	<u>373,017</u>	<u>△82,625</u>	290,391
セグメント利益	24,090	12,658	36,749	△15,179	21,569
セグメント資産	93,830	41,985	135,815	97,414	233,230
その他の項目					
減価償却費(注3)	2,275	1,437	3,712	2,286	5,998
持分法適用会社への投資額	836	—	836	98	934
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額(注3)	1,113	2,193	3,307	1,214	4,521

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

- (1)セグメント利益の調整額△15,179百万円には、主に全社費用△17,365百万円、セグメント間取引消去1,883百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。
 - (2)セグメント資産の調整額97,414百万円には、主に全社資産101,166百万円、セグメント間債権債務消去△3,496百万円が含まれております。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない余資運用資金(現金及び預金等)及び管理部門等に係る資産であります。
 - (3)その他の項目の減価償却費の調整額2,286百万円には、全社資産に係る減価償却費2,471百万円、未実現利益消去△185百万円が含まれております。持分法適用会社への投資額の調整額98百万円は、管理部門が主管する持分法適用会社への投資額であります。有形固定資産及び無形固定資産等の増加額の調整額1,214百万円には、全社資産に係る増加額1,283百万円、未実現利益消去△69百万円が含まれております。
2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
 3. その他の項目の減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額には、長期前払費用に係る金額が含まれております。

添付資料 23 ページ
 当連結会計年度(自 平成 22 年 4 月 1 日 至 平成 23 年 3 月 31 日)
 (訂正前)

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	連結財務諸表 計上額 (注2)
	ソリューション ビジネス セグメント	サービス ビジネス セグメント	計		
売上高					
外部顧客への売上高	273,378	9,690	283,068	—	283,068
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,431	43,551	44,982	△44,982	—
計	<u>274,810</u>	<u>53,241</u>	<u>328,051</u>	<u>△44,982</u>	283,068
セグメント利益	22,941	13,168	36,109	△14,792	21,316
セグメント資産	101,039	45,426	146,466	91,701	238,168
その他の項目					
減価償却費(注3)	2,836	1,751	4,588	2,140	6,728
持分法適用会社への投資額	920	—	920	73	993
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額(注3)	4,814	2,916	7,730	1,632	9,362

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△14,792 百万円には、主に全社費用△16,568 百万円、セグメント間取引消去 1,503 百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。
 - (2) セグメント資産の調整額 91,701 百万円には、主に全社資産 95,368 百万円、セグメント間債権債務消去 △3,567 百万円が含まれております。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない余資運用資金（現金及び預金等）及び管理部門等に係る資産であります。
 - (3) その他の項目の減価償却費の調整額 2,140 百万円には、全社資産に係る減価償却費 2,289 百万円、未実現利益消去△148 百万円が含まれております。持分法適用会社への投資額の調整額 73 百万円は、管理部門が主管する持分法適用会社への投資額であります。有形固定資産及び無形固定資産等の増加額の調整額 1,632 百万円には、全社資産に係る増加額 1,332 百万円、資産除去債務に関する会計基準等の適用開始に伴う増加額 491 百万円、未実現利益消去△191 百万円が含まれております。
2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
 3. その他の項目の減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額には、長期前払費用に係る金額が含まれております。

(訂正後)

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	連結財務諸表 計上額 (注2)
	ソリューション ビジネス セグメント	サービス ビジネス セグメント	計		
売上高					
外部顧客への売上高	273,378	9,690	283,068	—	283,068
セグメント間の内部売上高 又は振替高	<u>1,389</u>	<u>81,065</u>	<u>82,454</u>	<u>△82,454</u>	—
計	<u>274,768</u>	<u>90,755</u>	<u>365,523</u>	<u>△82,454</u>	283,068
セグメント利益	22,941	13,168	36,109	△14,792	21,316
セグメント資産	101,039	45,426	146,466	91,701	238,168
その他の項目					
減価償却費(注3)	2,836	1,751	4,588	2,140	6,728
持分法適用会社への投資額	920	—	920	73	993
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額(注3)	4,814	2,916	7,730	1,632	9,362

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

- (1)セグメント利益の調整額△14,792百万円には、主に全社費用△16,568百万円、セグメント間取引消去1,503百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。
 - (2)セグメント資産の調整額91,701百万円には、主に全社資産95,368百万円、セグメント間債権債務消去△3,567百万円が含まれております。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない余資運用資金(現金及び預金等)及び管理部門等に係る資産であります。
 - (3)その他の項目の減価償却費の調整額2,140百万円には、全社資産に係る減価償却費2,289百万円、未実現利益消去△148百万円が含まれております。持分法適用会社への投資額の調整額73百万円は、管理部門が主管する持分法適用会社への投資額であります。有形固定資産及び無形固定資産等の増加額の調整額1,632百万円には、全社資産に係る増加額1,332百万円、資産除去債務に関する会計基準等の適用開始に伴う増加額491百万円、未実現利益消去△191百万円が含まれております。
2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
 3. その他の項目の減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額には、長期前払費用に係る金額が含まれております。

以上